

2026年度（令和8年度）チャイルドラインうえだ事業計画

令和8年4月1日

(事務局運営：特定非営利活動法人シャイン)

チャイルドラインうえだ運営委員会

運営委員長 小林 彰

1、事業実施の概要

①チャイルドラインうえだ運営

- ・ 毎週木曜日午後4時から午後9時まで・隔週水曜日午後4時から午後6時半まで子どもからの電話の受付業務。
- ・ 開局20年を記念して一般向けに講演会を開催。
令和8年5月9日（土）午後1時30分から3時30分
講師：内海裕美氏（吉村小児科 院長）
演題：「小児科医からみた子どもたちの現状とチャイルドラインへの期待」
～チャイルドラインを立ち上げた清川輝基氏とのご縁～
会場：ひとまちげんき・健康プラザうえだ
- ・ 「第20期受け手養成講座」開講
チャイルドライン専用回線で子どもからの電話を受ける「受け手」「支え手」を養成。
全12講座を5/24～8/8に実施。
- ・ 「受け手」
 - ◇講座受講終了後、受講者の中から「受け手」選任
 - ◇スキルアップを図るための継続研修を奇数月に開催
- ・ 「支え手」
 - ◇現在受け手として活動している方の中から「支え手」を募集、選任
 - ◇会議・研修を偶数月開催
- ・ 運営委員会を開催
- ・ 全体交流会を開催
- ・ 事務局担当専従者（4名）を置き、業務を分担して従事

② 広報

- ・ チャイルドライン事業を広く周知し、行政や地域の方々に理解、支援を促す。
 - ◇年次報告書を作成し、配布。
 - ◇養成講座を公開講座にし、広く地域の方々に参加を促す。
 - ◇養成講座開講前に記者会見し、メディアでの広報をする。
 - ◇地元ロータリークラブ・民生児童委員会・他団体への広報活動に力を入れる。
 - ◇11月（虐待防止月間）・3月（自殺予防月間）にパネル展を市内で開催する。
- ・ 長野県の子どもたちに、チャイルドラインの電話番号を周知する。
 - ◇チャイルドラインながの・チャイルドラインすわ・チャイルドライン佐久・チャイルドライン中信と連携しカードを配布。

③ 財政・渉外

- ◇企業・他団体への訪問し募金箱設置依頼

◇地元ロータリークラブの協力を得て募金箱設置箇所を拡大する。

◇カード会員・賛助会員の拡大に努める。

- ④ 長野県チャイルドライン推進協議会の事務局運営を担う
- ⑤ チャイルドライン支援センターの事業・研修会に参加・協力